



満開の桜の下で花見かな（秋津川）



益城町

議会だより

清水

せ い

す い

平成 25 年(2013) 3月定例議会 No.51

春の日差しにきわだつラッパ水仙



学校自慢 津森小学校

3月議会の賛否表

組合議会からの報告

常任委員会レポート

新しい議会構成

一般質問5名が町政を問う

平成25年度一般会計
予算など審議

P14

P13

P12

P10~P11

P9

P4~P8

P2~P3

3月 定例議会

平成25年度一般会計予算 100億7,770万円

平成25年度一般会計予算 特別会計予算などを可決・認定

平成25年度第1回定例議会が3月5日から12日まで会期8日間で開催され、平成24年度補正予算及び平成25年度一般会計予算の他、条例の一部改正など42議案を審議し、可決・認定した。
一般会計予算については、前年度当初比4・1%減の100億7,770万円。主な事業は潮井公園整備工事、小中学校の学校給食費補助など。

潮井公園整備、用地取得と造成工事

飯田山自然公園と並んで、潮井自然公園の整備事業に7,100万円が計上された。
これは、造成工事が予定されていることと、用地購入1,442㎡が含まれている。
現在は公園の取付け道路も狭く、夏場に涼を求めて訪れる来園者にとっても不便であり、せつかくの名水がありながら訪れる人が少ない。今後は町の観光地として整備が進むことにより、町内外からの来園者が増えることが考えられる。



公園化が進む潮井公園

小中学校給食費 一回500円の補助

4月から小中学校の給食費一回500円、年間11回で合計5,500円の補助金が交付されることが決定された。
給食費は4月から小学校が一ヶ月4,000円、中学校が4,500円となっており、滞納者も現在全校合わせて10件程度である。
今回の補助金については滞納に当たるという趣旨ではなく、補助金500円以外の金額については徴収するといふものである。

こうした補助金制度がある自治体は県下でも少なく、南関町、玉東町、山江村について益城町が4番目となる。

公の施設に係わる指定管理者の指定手続等に関する条例の制定

町が設置する公の施設の管理について、指定管理者制度を導入しようとするものである。これは行政改革大綱のなかで、公の施設と指定されているところについて「公の施設のあり方検討委員会」から見直しの必要があるとの答申に基づき、指定管理者制度を導入しようというものである。そのためには、あらたに条例の制定が必要である。現在は「葉山荘」及び「町民憩の家」が対象となっており、「葉山荘」については民間移譲、「町民憩の家」については指定管理者制度の導入との答申がなされている。
今後も公の施設につ

いては、すべてを検討していく。

その他の 条例の一部改正

公民館条例の一部改正

益城町公民館広安分館を益城町保健福祉センター内に移転し、使用料は同センター条例に基づき改定するものである。

益城町児童館条例の制定

益城町児童館の建設に伴い、あらたに条例を制定するものである。これは保健福祉センター内に児童館が新設されたものである。



平成24年度 補正予算などを 問う

地方バス運行特別対策補助金について、福田地区に乗合タクシーが運行した分だけ減額になると思うが、増額になっているのはなぜか

平成23年度と比べ、益城町を走る路線バス全体の乗車人員が年間約14万人減少し、赤字額の補てんが増加となったためである。

福田地区乗合タクシーとは定期的に合致していないので因果関係の対象とはならない。

市ノ後団地の外壁工事などの改修工事は国の補正予算に 関係する工事なのか

当初計画では、平成27年度以降に考えていたが、今回の国の1次補正交付金（元気のえる交付金）等を活用したほうが有利と判断したため、前倒しで実施するものである。

平成25年度 一般会計予算などを問う

広崎4町内7m道路の第2空港線への接続工事が中止になったのはどうしてか

地元から危険性や通行の不便さを訴える強い要望があったため、区画整理事業に障害にならないよう暫定的に整備することで工事に着手した。その後、区画整理地区に商業施設の進出に伴い、熊本県や県警及び隣接する熊本市との交通道路管理者協議を進めている中で、ここを整備することで第二空港線への交通量の問題等で、支障を来す恐れがあることから、総合的に判断をし現整備計画を一旦中止したものである。今後は、交通道路管理者協議の結果と合わせて、再度整備を進めていきたい。

矢嶋楯子生誕180周年記念行事の実行委員会補助金とその内容は

実行委員会は町長を会長に12名の委員と、役場職員を中心とした21名のワーキンググループで組織されている。

記念行事は5月11日・12日を予定しており、内容は初日が四賢婦人ゆかりの地を訪ね歩くウォーキング、2日目は文化会館において記念式典や、基調講演、シンポジウムを行なう予定である。

健康づくり教室の具体的な取り組みと開始はいつからか

地域の健康をアシストしていただく、健康づくり推進委員の養成講座と、平成25年度から稼動する保健福祉セ



4月に落成した保健福祉センター

ンターで行なう健康運動教室を計画しており、開始は6月ごろの予定である。

庁舎太陽光発電設備設置について、庁舎内の何処を補うのか

公共施設再生エネルギー等導入事業で行なうもので、防災拠点への補助ということでもあり、具体的には、非常時の役場庁舎内の防災本部の電力を賄うためのものである。

年間発電量も庁舎全体の年間使用料の1・6%を補える程度であり、売電などは見込んでいない。



すこやかに育て、未来の宝

平成23年度まで認可保育所が町内に2園だったが、平成24年度から「あじさい保育園」が開園し、3園となったため、増額を想定し予算を組んでいたが、実績が予想より下回る見込みとなったため。

私立の認可保育園の保育園料が減額になっているがなぜか

予定は9月末から約5ヶ月の工期を見込んでいる。
なお、外壁と屋上に関する工事のため、期間中の利用に支障はない。

文化会館の外壁、屋上防水工事の改修期間と期間中の利用は

一般質問



宮崎 金次議員

町の農業の現状はどうか

宮崎 広々と豊かに見える益城町の農業から納められる税金が、町民税全体の僅か1%しかないことに驚き、農業に元気になってもらうため「町の農業の現状及び将来予想される農業の姿」について伺う。

意欲ある農家に農地の集約化

町長 益城町の農業は、これは全国的にも言われているが、農業従事者の平均年齢が65・8歳と年々高齢化が進み、後継者もおらず、更に農地の集約化が進まず、農業機械の買い替えなどで離農者が増え、耕作放棄地が増加の傾向にある。

将来の町の農業の姿として、農業従事者の高齢化が進み、農地の貸付けの意向が強まり、企業等大規模経営体、また意欲ある農家に農地の集約が進むものと思われる。

耕作放棄地への対応についてはどうか

宮崎 今後、益々増加するであろう耕作放棄地への町の対応について伺う。

農業経営規模拡大推進事業等を進める

町長 農地法の改正により農業生産法人以外の法人等も農地を借りて、農業に参入できるようにになり、また法人組織や個人就農者が、安心して農地を貸し借りするための利用権設定促進事業や、意欲ある農家の規模拡大と、農地の有効利用を図るための農業経営規模拡大推進事業、人・農地プランを通じる事によって、農地の集約化を図り、耕作放棄地対策を進める。更に農業委員会による、農地パトロールにより耕作放棄地の発生防止、解消を図る。

現在の行政区設定の目的は何か

宮崎 現在益城町は、67の行政区に分かれ、それぞれに囑託員を設けて町の行政の一端を担ってもらっているが、行政区毎の世帯数のバラツキが大きく、例えば、新川・平田西地区は13世帯、広崎4町内は758世帯であり、改めて「行政区設定」の目的を伺う。

町民の福祉を増進し町政の円滑な運営を図る

町長 行政区設定の目的は、町民の福祉を増進し、町政の円滑な運営を図るため、歴史的、地理的等の条件をもとに、飯野校区16、広安校区17、木山校区10、福田校区15、津森校区9、計67行政区を設定している。

防災上、経年変化から見直しが必要ではないか

宮崎 災害発生時、確実に避難誘導して、被害を少なくするための自主防災組織を作る観点、更に経年変化した行政区をそろそろ見直す必要があるのではないかと思うが、どう考えているか伺う。



自主防災組織による搬送訓練

各区长の意見を聞いて検討する

町長 災害から住民をどの様にして守るかを考えた場合、「行政区単位での自主防災組織による共助の体制を早く整えなければならぬ」と考えている。まず本年度は、自治会・行政区単位で、住民同士がお互いに、自分達の場所が自分達で守ると言う自覚や連帯感をもった自主防災組織の設立に積極的に取り組んでいく。

行政区の見直しについては、各区长等の意見を聞いて検討したい。

一般質問



稲田 忠則議員

町民に周知徹底が図られていないのではないか

稲田 広安町民第1グラウンド内の東側をグラウンドゴルフ、ゲートボール場として整備。以前からあったグラウンドは、町として多目的グラウンドとして貸し出しているが、利用している競技団体は、幼児、小学生が主流で、グラウンドゴルフ、ゲートボール場に関しては極端に利用が少ない。

町として広安校区の方々への周知、徹底などのPR不足ではなかったのか。

憩いの場として活用できるよう考えたい

教育長 町民運動場の設置及び管理に関する条例にうたっており、グラウンドとして利用している。使用がないときなどに散歩や子どもたちの遊び場ができるような、住民憩いの場として活用できるように考えている。出入口の門がしまった状況であったので、門の開放も含めて検討していきたい。



町民グラウンド門扉

運動公園としての利用を考えては

稲田 計画性を持って遊具などの設置を検討して、親子が集まる広場としてかけっこしたり、遊具で遊べるよう活用できるなら、グラウンドを購入した目的も達成でき、皆さんから愛されるグラウンドとして価値も上がるのではないのか。

今すぐ公園に変えることまでは考えていない

教育長 今の状況の中でも、木陰等は充分あると思う、来ていただくだけでも休憩したり、いろんな遊びもできる場

部活動で、これまで体罰はなかったのか

所はあるのではと認識している。しかし、今すぐに公園に変えることまでは考えていないが利用しやすい工夫はしっかりしていききたい。

稲田 昨年12月23日、大阪市桜宮高校バスケットボール部の主将の男子生徒が、男性顧問の教諭に体罰を受けた後、自殺したとの報道があった。そこで町内の小中学校では盛んな部活動やクラブチームがあるが、今まで学校で体罰があったとは聞いていないが、学校現場の実情は、どのような指導が行われているのか。

体罰はなかった

教育長 本年2月に文部科学省から、県の教育委員会を通じて、24年4月1日から25年1月31日までに市町村教育委員会から、体罰に係る懲戒処分、訓告等の件数を調べるように、調査依頼があった。

町教育委員会としては、調査の結果、処分等はなかったと報告した。

通学路の改善計画は何ヶ所か

稲田 昨年度は危険箇所を改善された所はあったのか。平成25年度において、通学道路などの安全確保のために改良改善が計画されていると思うが何ヶ所が予定されているのか。



改善後の交差点

今年度は14ヶ所改善予定

教育長 昨年8月に調査して、最終的に33ヶ所の協議が必要になった。道路の白線が消えかかっている箇所のライン引き直し等、対応済みとして12件である。残る21件中25年度で対応予定が14件ある。各学校に交通安全教育の強化、交通指導の工夫、児童・生徒への登下校等のマナーなど指導もしている。

広安町民グラウンドの活用についてどのように考えているか

住民憩いの場としても活用できるよう考えていきたい

町内小中学校の部活動の体罰はなかったか

町教育委員会が調査したが、体罰はなかった

益城町のこれからの農業政策について問う

農業の活性化に努める

現在の行政区を見直す時期ではないか

区長等から意見を聞き、検討したい

一般質問



江越 信保議員

防災・安全交付金の活用で町民の安心・安全を

江越 国の24年度補正予算は緊急経済対策を柱とし、総額13兆4,000億円が充てられた。

防災安全交付金をはじめ、各自治体が活用できる事業が数多くある。

当町の取り組みは。

今回の補正予算にも既に計上した

町長 これは今回限りの特例措置として、地域経済の活性化、雇用の創出を図るために交付された。

当町としても、地域再生道路整備事業、町道路路面性状調査事業及び市ノ後団地外壁等改修工事など今回の補正予算に計上した。

学校施設・体育館は避難時は住民の命を守る最後の砦

江越 避難所でもある体育館や学校施設の耐震は勿論、天井、照明施設の落下予防にも今回の予算は使える。

この機会を捉えて国の補正予算を最大限に活用し、25年度以降にも計画している事業

があるなら前倒ししてはどうか。
更に、県の通学路緊急合同点検の結果、当町は33箇所の対策必要箇所が指摘されている。地域住民を守る防災・減災に加え、こうした通学路の安全対策、道路の無電柱化、歩道、公園の整備、公営住宅の耐震化事業なども含まれている。こうした事業にも取り組んではどうか。

要望できるところは他にないか徹底して論議をした

町長 今回の国の交付金は緊急性があり、期限がある。関連する課長達と要望できるところは他に無いのか徹底して論議した。

地域の元気交付金の活用で活性化をはかれ

江越 地域経済活性化雇用創出臨時交付金（地域の元気交付金）は今回限りの特別措置として、国の24年度補正予算に1兆4,000億円が計上された。

これは補助率法定の無いものに限り、当町に該当する計画はあるのか。

補助の申請をしている



国の補正予算を活用して外壁改修予定の市ノ後団地

町長 町としては、復興、防災対策、津森小学校外壁改修工事、上益城中央2期地区中山間地域整備総合事業、県道整備事業の県営事業負担金及び地域再生整備事業、町道路路面性状調査、市ノ後団地外壁等改修事業について補助の申請をしている。

地域の元気臨時交付金などの国の24年度補正予算 当町はどう活用するのか

今回の補正予算に一部計上、更に25年度補正予算に計上し有効に活用する

一般質問



甲斐 康之議員

事業所閉鎖撤回を求めよ

甲斐 ルネサスは今年10月で事業所閉鎖を計画しているとの報道がなされた。益城町には400名の社員のうち40名程度が居住している。事業所閉鎖になれば、6カ月後には横浜、川崎への異動か、退職を迫られている。

転勤ができない社員は、退職となりすぐに再就職は期待できない。生活環境が大きく変わり住宅ローンの支払いも困難となる。企業の身勝手な合理化計画であり、企業に対して閉鎖撤回を求めていくべきであると考え。

存続を強く要望した

町長 企業から町に対し東京の本社に統合したいとの説明を受けた。今の時点で町が大きくアクションを起こすことは慎重にしていたきたいとのことであった。しかし、益城の地で事業を存続するよう副知事等と同道してルネサス本社に嘆願書を持って存続を強く要望した。

大企業の誘致に依存せず地元企業の支援を

甲斐 誘致企業の撤退が相次いでいることから、「企業誘致曲がり角」、「地方自治体の補助金、効果薄れ」と報道されている。誘致企業には、企業の社会的責任を果たさせる立場から、条例や協定書に安易に撤退させないガイドラインによる規制措置が必要である。大企業の誘致に依存するのではなく、地元企業、農林業振興、6次産業化を基本とする政策、無理に新しい企業を呼ぶのではなく、既存の企業などの支援を行い、地域の経済を拡充することが重要と考える。



ルネサス九州事業所

地元企業を可能な限り応援したい

町長 地元企業を育てることばごもつともと思う。可能な

限り応援していきたい。頑張って税金や雇用を増やしていただきたいと思っている。

消防本部の広域化は、住民の声を聞いて判断せよ

甲斐 熊本市消防局との広域化の協議が住民の声を聞くこともなく、議員への説明も不十分なまま進められ、3月1日に協議会で統合が決定された。

6月議会で決定をしてから、住民説明会を開くようでは住民や議会の軽視ではないか。住民の声をまず聞くべきだ。

議会軽視ではない

町長 協議会での協議項目が整った分について、議員には説明をしており議会軽視ではない。

広域化のメリットはあるか

甲斐 今の高遊原南消防本部の救急や消防体制は見劣りしない。益城消防団も優秀である。応援できる体制の東消防署を含む五つの消防書の救急車一台あたりの出勤実績は、

益城の3.7倍である。

支援を受けるどころか応援を求められる事になるのではないか。救急救命士の有資格者も充実している。高度通信監理システムの話も、地域を熟知している署員は力を発揮できる。職員の異動や採用権などの人事権を熊本市に移譲する「事務委託方式」には問題があるのではないか。



高遊原南消防本部

消防力は強化する

町長 高遊原南消防本部と熊本市消防局が広域化に向け、事務委託方式で進めている。効率的・効果的な消防運用体制の確立が急務である。通信監理システムにより、迅速になり消防力が強化されると考える。救急救命士をあえて異動させることはない。現場の消防隊員は「マイナスは無い、すべてプラスです」という声である。

ルネサスの事業所閉鎖について町の対応はどうか

事業存続を求めて、ルネサス本社に県と同道して嘆願した

高遊原南消防本部の熊本市消防局への統合はメリットがあるか

町民の安心・安全を守るという観点から、メリットはある

新しい議会の構成は次のようになりました



議長 中村 健二



益城町議会議長に就任して、皆様のご期待に応えていけるか不安はありますが、最善の努力を尽くして、公正、公平を旨とし、円満で活発な議会運営を目指してまいります。

また、町執行部と議会が共通の幅広い正確な情報を持ったうえで、町民のための審議をし、町民から信頼される議会となるよう努めてまいります。

副議長 江越 信保



議会は町民の皆様の代弁の場であることを深く認識し、より良い町づくり、住みやすい町づくりを目指して議論を展開しているところであります。今後、町が抱える様々な問題に対して、町と議会が丸になって活発な議論の展開と、円滑な議会運営が推進されますように、その責務に邁進してまいります。

(◎＝委員長)

○＝副委員長)

議会選出監査委員 竹上 公也

常任委員会 総務

◎渡辺 誠男
○坂田 みはる

森上 祐一
江越 信保
坂口 政弘
宮崎 金次

福祉

◎福永 誠一
○稲田 忠則
高橋 津代美
甲斐 康之
野田 祐士

建設経済

◎石田 秀敏
○荒牧 昭博
山内 親宣
竹上 公也
寺本 英孝
坂本 貢

議会運営委員会

◎江越 信保
○森上 祐一

山内 親宣
渡辺 誠男
稲田 忠則

竹上 公也
坂田 みはる
坂口 政弘

特別委員会

(議会広報編集特別委員会)

◎江越 信保
○坂田 みはる
竹上 公也
中村 健二
甲斐 康之
野田 祐士

組合議会

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合

渡辺 誠男
荒牧 昭博

高遊原南消防組合

山内 親宣
森上 祐一

御船地区衛生施設組合

稲田 忠則
福永 誠一

上益城広域連合

中村 健二
竹上 公也

一般質問



野田 祐士議員

地区計画の現在の状況はどうか

野田 地区計画が多大な成果を上げて、少子化対策及び地域活性化に繋がってきているようであるが、現在の状況について伺う。

住居系と工業系1箇所

町長 住居系は馬水地区に初めて決定し現在63区画中、約6割の建築が進み、新しい街並みが形成されつつある。工業系については、熊本臨港テクノパークに大日本スクリーン(株)が一部の土地を取得している。

住居系では福原地区約60区画の手続きを進めている。16区画については工事が始まっている。また事前協議前ではあるが、飯野・福田校区に1箇所ずつ予定されていると聞いている。

民間活力の利用と強いリーダーシップが必要ではないか

野田 民間の活力を利用しノウハウと創意工夫した提案を活用して、全課を挙げて問題点や課題について様々な視点

から精査していく上で、町長の強いリーダーシップによる決断とバックアップが必要であると思う。また地域再生道路沿線(木山く安永)の更地を有効利用していく為には、住区生活道路の機能に応じたネットワークを形成し、インフラ整備についても、あらかじめ計画を進めておく必要があるのではないか。

インフラ整備は随時図っていく

町長 地域再生道路については平成26年度末完成に向けて取り組んでいる。この道路を縦軸として、県道益城菊陽線及び国道443号線が走っているが、この道路沿線を発展させる為には、接続する道路整備が重要であると考えている。新たな都市基盤となる道路計画を作成し、道路沿線の整備を図っていきたい。面的整備の計画は現時点ではないが、民間活力を利用した整備を誘導していくにはインフラ整備が必要であるため、しっかり考えていく。

定住促進補助金交付制度の対象地域について

野田 定住促進補助金交付制度が住宅地の購買を活性化しており、それが少子化対策及び地域活性化に繋がってきている。木山校区も児童数の減少が見られるが、対象地域を拡充することは考えていないか。また津森地区は、現在インフラ(下水道)整備を行っている。制度については、期間の延長を考慮すべきではないか。

検討事項としたい

町長 基本的には飯野・津森小学校の生徒数の減少と地域コミュニティ活性化の目的で創設した制度である。現時点では木山・広安地区の市街化調整区域までの拡大については考えていないが、一定の目に見える形で成果が出ていくという思いもある。

この条例は5年間の期限を設けていることから、平成27年度に検討の課題としたい。

公社の利用と基金の活用を考えるべきでは

野田 土地開発公社の運用と

民間活用を融合し、更なる躍進に繋げることを考えてはどうか。例えば地域再生道路沿線に中小工業団地等を計画してはどうか。

地理的立地条件は最良

町長 益城町だから可能な課題ではないかと考える。インターチェンジや空港、立地条件は県内トップだと思う。規制等の課題については、熊本県や県警に対しても一生懸命に交渉し取り組んでいきたい。



地域再生道路沿線

3月議会 常任委員会レポート



特殊車両の説明



熊本市消防局にて説明を受ける

区画整理事業の 順調な進展を要望

建設 経済



熊本市消防局職員より説明を受ける



熊本市消防局はしご車

建設・経済常任委員会では、付託された14議案について審査を行い、いずれも原案の通り全会一致で可決・認定した。

平成24年度一般会計補正予算では、農業経営体育成交付支援事業補助金について質疑があり、認定が全国規模なので、なかなか厳しいとの意見があった。

また、平成25年度一般会計予算では、農業用廃プラスチック処理事業補助金や、資材支給関係について質疑があり、担当課長から詳細な説明を受けた。

土木費の道路改良関係として公有財産購入費や交差点協議、区画整理事業に関連して協議書の提出を求める意見や質疑があり、過去の経緯や現状について、詳細に説明を受け、今後の事業計画が順調に進展するよう要望があった。

現場視察では、全委員合同で熊本市消防局を視察した。担当者から熊本市消防の概況等について説明があり、高度な消防指令管制システムや特殊車両の視察を行った。

常任委員会レポート 3月議会

総務

4月から学校給 食費の補助、一人 500円

総務常任委員会では、付託された12議案について審査を行い、いずれも可決した。

平成24年度益城町一般会計補正予算については、今回の国の補正予算が平成26年3月までに終了するものに限定された予算であるとの説明を受けた。

また平成25年度益城町一般会計予算については、臨時財政対策債や基金について質問があり、毎年国からの交付額が変わり、交付税を減らし、臨時財政対策債を増やすこともあるとの説明であった。

更に学校給食費の滞納についても質問があり、平成25年4月から1人につき、一回500円、年間5,500円の補助が実施されるが、この補助は滞納に

当てるという趣旨ではないとの説明があった。

現地視察については「消防広域化」に伴い熊本市大江にある熊本市消防局の視察を他の委員会合同で実施した。

消防職員による当局の概要及び消防特殊車両の説明があり、特に救急・火災通報については瞬時に位置情報が判別できる「消防管制システム」や放射性質、生物剤及び化学剤に対応できる特殊車両等の展示があり、今後の消防事務広域化の判断の参考に役立った。

保健福祉センターを活用した健康づくり実施

健康づくり推進員・教室など体制の整備

福祉



益城町保健福祉センター



熊本市消防局を視察

福祉常任委員会では、付託された16議案について審査を行い、関係課長から詳細な説明を受け、慎重審査の結果、いずれも原案の通り可決した。

なお、平成25年度一般会計予算については、保健福祉センターを活用した健康づくりを継続して実施していくことと健康づくり推進員などの体制の整備について説明を受けた。

広安分館については、福祉センター内に移転

され、使用料については若干の見直しがある、との説明があった。

後期高齢者の人間ドック受診者数についての質疑があり、昨年の実績数97名の応募があった。国保財政状況や健診の必要性の住民説明会の成果が出てきているようである。

結果として、医療費の伸びはかなり収まってきたっており、将来的には地域に向いての健康運動づくりを推進していくとの説明もあった。

また、今年から骨粗しょう症の検診委託料を初めて計上しているとの説明があった。

環境衛生費中の雨水浸透枳設置と、雨水タンク設置補助が当初予算に対し減少していることから、実績件数についての質疑があり、更なる周知徹底に努めていくとの回答を得た。

現地視察については、「消防広域化」に伴い熊本市大江にある熊本市消防局の視察を他の委員会合同で実施した。

《3月議会での主な議案への賛否の状況》																				
事 件 名		結 果	野田 祐士	高橋 津代美	宮崎 金次	坂本 貢	甲斐 康之	寺本 英孝	坂口 政弘	石田 秀敏	江越 信保	中村 健二	坂田 みはる	森上 祐一	稲田 忠則	荒牧 昭博	渡辺 誠男	山内 親宣	竹上 公也	福永 誠一
予算関連	平成24年度一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成24年度公共下水道特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度一般会計予算	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度公共下水道特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度農業集落排水事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	平成25年度水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
条例関連	一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	情報公開条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	個人情報保護条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	課設置条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	職員定数条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	使用料等審議会条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	公民館条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町民憩の家設置及び管理に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	保健福祉センター条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	児童館条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	指定地域密着型サービス事業の人員、設備、運営の基準に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備、運営及び介護予防のための効果的な支援の基準に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町道の構造の技術的基準に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町道に設ける道路標識の寸法に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町営住宅条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	都市公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	下水道条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
	町道の路線変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負契約の変更（第二鉄砂川橋下部工工事）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
工事請負契約の変更（広安西小普通教室増築工事）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
和解及び損害賠償額の決定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	一	
監査委員の選任同意について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	一	

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 裁：議長裁決 可：可決 否：否決 棄：棄権

議会の動き	
1月	8 上益城郡議長会定例会議 成人式 13 消防広域化報告会 15 議会広報編集特別委員会 20 消防団出初式 22 議会広報編集特別委員会 23 青少年問題協議会 24 九州中央自動車道延岡線建設促進沿線 議会協議会提言活動（25日まで） 29 議会広報編集特別委員会 30 土地開発公社理事会
2月	1 「くまもと春の植木市」開会式 5 議会広報編集特別委員会 公の施設あり方検討委員会 6 第2回子ども議会 12 長崎国体現地事務所開所式 18 上益城広域連合議会定例会 19 民生委員推薦会 熊本県町村議会議長会定期総会 22 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会定例会 25 御船地区衛生施設組合議会定例会 高遊原南消防組合議会定例会 28 議会運営委員会 議会全員協議会
3月	5 平成25年第1回定例会（12日まで） 18 公の施設あり方検討委員会 19 益城町企業連絡会議 24 益城町消防団「消防長官表彰旗」受章披露宴 25 議会広報編集特別委員会 28 健康づくり推進協議会 郡議長会会議



体育館前に建立された記念碑

議会広報編集特別委員会	
委員長	中村 健二
副委員長	坂田みはる
委員	江越 信保
委員	竹上 公也
委員	甲斐 康之
委員	野田 祐士



（文責 竹上公也）

▼大陸からの黄砂と共にPM2・5の襲来か、子供やお年寄りの健康が危惧される。高度成長の裏側では、環境汚染を伴う。かつて日本でも色々な公害病を引き起こした。それを期に、さまざまな規制が敷かれ、対策が施された。

▼生命が宿る、美しい地球の自然環境を、もう一度真剣に考えるべきであろう。

▼議会便りの清水も、町民の皆様にも親しまれる、透明性のある広報誌として誠心誠意お伝えしてまいります。

各組合議会とともに

平成25年度一般会計予算可決

組合議会からこんにちは!!

高遊原南消防組合

組合議会は、2月25日に定例会を開催し、平成24年度一般会計補正予算並びに平成25年度一般会計予算が承認された。

平成25年度の歳入歳出の予算の総額は6億2,000万円となり前年度に比べ、9,700万円増となった。

増額の主な要因は、消防広域化による熊本市消防局との

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合

事務委託を前提とする統合が6月議会で審議される事により、指令管制システム導入整備事業として、1億4,000万円が予算化された。

御船地区衛生施設組合

組合議会は、2月25日に定例会を開催し、平成24年度一般会計補正予算並びに平成25年度一般会計予算、組合職員の再任用に関する条例など6議案が承認された。

平成25年度の歳入歳出予算の総額は、1億9,973万円となった。

主な事業計画は、施設の延

命化対策（修繕、清掃、薬品など）に必要な費用などである。

増加の主な要因は、昨年10月から始まった廃プラスチックの選別費用の負担増などである。

袴野小中学校

平成25年3月に3名の小学校生が卒業するのを最後に、97年の歴史に幕を閉じた袴野小中学校（中学校は63年）の閉校記念式典が行われた。

同校体育館前には、歴史を後世に残すために、大正4年の第一回卒業生から今年度の卒業生までの975名と在校生3名の氏名が記された袴野小中学校跡記念碑が建立された。

編集後記

▼小春日和のこの頃、飯田山の山肌がかすんで、見えない。

皆で健康を考えよう

「日本一健康なまち」を

目指します！

「国保財政が危ない」
昨年、36箇所の地区
公民館を巡回し、国民
健康保険の説明会を実
施しました。その中で、
数名の方から「町の健康
診断で病気を早期に発
見でき助かりました」と
感謝の言葉をいただき
ました。

その一方で、平成24
年度の特定健診の受診
率は31・5%と国が定め
ている目標値65%に遠
く及ばない状況にあり
ます。今後は各福祉区
に健康づくり推進委員
の配置、国民健康保険
特定健診優良地区表彰
制度の策定など、健診
受診者の拡大を図る事
業を展開して行きます。

さらに、健康寿命(平

均寿命のうち、健康で
活動的に暮らせる期間)
を伸ばすために、住民
一人ひとりの健康に對
する考え方と行動のあ
り方を変えていただく
とともに、自然に健康
を維持できる環境をつ
くることが大切と考え、
本年4月に旧広安町民
グラウンド跡地に完成す
る「益城町保健福祉セ
ンター」を、各種健診、
予防接種、健康相談及
び健康づくり事業の拠
点として位置づけ、「日
本一健康なまち」を目
指して、事業を展開し
て行きます。

自分自身が「からだの
責任者」の自覚を持ち
ましよう。

(健康づくり推進課)



津森小学校

平成24年度の全校児童
数は90名です。

津森小学校の正門を入
ると、「よく考えますん
でまなぶこども」「礼儀正
しくおもいやりのあるこ
ども」「健康でさいごまでや
りぬくこども」。こんな子
に願いが込められた3
力条♡

その願いの通りに成長
した6年生の仲間たちと、
子どもたちを見守り導い
た田中あかり先生を紹介
します。

6年前に赴任してこら
れた田中先生は、支援学級
の新入児童となった橋村
ももかさんと共に学校生
活がスタートしました。そ
して同級生の子どもたち
は、脳性まひのため、言葉
や体が不自由な橋村さん
を手伝うことは、ごく自然



冷たい風もへっちゃら!! 思いよ届け!!

で当たり前の事として多
くの時間を共有してきま
した。5年生の時は、芦北
青少年の家での2泊3日
の集団宿泊学習へ、6年生
では長崎1泊2日の修学
旅行、ともに親元を離れ、
橋村さんを中心に子ども
たち同士が、助け合う宿泊
体験をやり遂げたことは
とても素晴らしいことで
す。橋村さんはこれからも
「一人では無理でも助けが
あれば必ずできる」を、発
信して行くことでしょう。

田中先生は、「ももかさ
んが残してきたバギーの
わだちを、これからもず
つと守り続け、次へ繋げてい
くことが教師としての役
目だと思っている。」と瞳
を輝かせてお話し下さい
ました。

私が学校を訪れた2月
下旬は、まだまだ寒い日で
した。校庭では大事な教え
子たちと卒業記念制作中
4基の跳び箱にカラフル
な絵を描き、タイヤなどの
遊具の色塗りを頑張る子
どもたち「後輩が楽しく使
えるように♡物を大事に
してくれるように♡」そん
な願いを込めて、12名全員
で楽しみながら思い出づ
くりの貴重な時間でした。
今、木山中学校の1年生
として12名が新たな出会
いを経験しています。心か
ら願うことはひとつ、支え
あい共に絆を深める仲間
が一人でも多く増えますよ
うにと。津森つ子の変わら
ない友情にエールを送り
ます。

(取材 坂田みはる)



夢を描いた、皆の笑顔が素敵